



F&A AQUA  
holdings, inc.

# 株式会社F&Aアクアホールディングス 第63期株主通信

(2012年3月1日から2013年2月28日まで)

## 株主の 皆様へ

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、信頼される企業、夢を与えられる企業、貢献できる企業、期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役会長 木村 祭氏(左)  
代表取締役社長 鈴木 秀典(右)

## 2012年度の総括

第3次中期経営計画の初年度となる2013年2月期は、「Challenge & Progress (挑戦と躍進)」をテーマに掲げ、企業価値の向上に取り組みました。その結果、2012年10月に発表した修正計画を上回り、昨年に引き続き増収大幅増益となりました。営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を更新し、第3次中期経営計画の2年目の利益目標を1年前倒しで達成しました。

事業会社別に見ると、エフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーのほか、「4℃ BRIDAL」(ヨンドシィプライダル)、「canal4℃」(カナルヨンドシィ)が順調に出店拡大し、業績を牽引しました。アスティグループは、企画提案力の強化によりODM事業を中心に売上高が拡大しました。(株)三鈴は、減収減益と苦戦したものの、第4四半期は増収に転じるなど、回復の兆しが見えています。(株)アージュは、主力のデイリーファッション事業の「パレット」が好調に推移しました。

## 株主の皆様への利益還元

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的・継続的な配当と、機動的な自社株買いによる利益還元の水準向上を目指しています。当期末の配当は、営業利益、経常利益ともに過去最高益を更新したことから、1円の特別配当を加え、年間配当を22円とさせていただきます。2013年度は中間、期末ともに12.5円の年間配当25円を予定しています。

## 今後の展望

2013年3月1日より新しい経営体制で第3次中期経営計画の2年目をスタートさせました。さらに、コーポレートブランドの確立と認知度の向上を目指し、2013年9月1日より新CIの導入と社名変更を決定しました。第3次中期経営計画の目標を1年早く達成し、新体制へと移行した当社にとって、2013年度は新たな成長のための舵を切る絶好のタイミングであると考え、全社を挙げて邁進していきます。

第3次中期経営計画の利益目標は、当初毎年10%成長する計画でしたが、初年度は20%を超える大幅成長となったため、残りの2年については、当初の10%成長を基本にローリングを行いました。

これに伴い、2015年2月期については連結売上高530億円、経常利益高60億円、経常利益率11.3%、ROE7.6%の修正目標の達成に取り組んでまいります。

## 第3次中期経営計画の基本方針

(2013年2月期~2015年2月期)

### 事業ビジョン

- |   |   |   |                 |
|---|---|---|-----------------|
| 1 | エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大 | 5 | 海外戦略の推進         |
| 2 | アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上          | 6 | EC事業の拡大         |
| 3 | (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立                 | 7 | 「4℃」ブランドの価値向上   |
| 4 | (株)アージュにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上       | 8 | 各グループ子会社の利益体質強化 |

### 組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進

### 数値ビジョン (2015年2月期) 修正目標

連結売上高	530億円
経常利益率	11.3%
ROE	7.6%

# 「挑戦と躍進」に向けて F & A WAY

F&Aアクアホールディングスは、「4°C」ジュエリーを中心としたブランドSPA事業のエフ・ディ・シー・プロダクツグループ、OEMを中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業のアスティグループ、アパレルSPA事業の(株)三鈴、リテール事業を行う(株)アージュの4事業グループで構成されています。それぞれの事業グループの2012年度の総括及び2013年度の計画についてご紹介します。

## エフ・ディ・シー・プロダクツグループ

### ■ 2012年度の総括

「4°C」ジュエリーの既存店が「4°C Pregence」(ヨンドシブレジエンス)の展開等により健闘したことに加え、「4°C BRIDAL」「canal4°C」の出店拡大で好調に推移しました。また、2012年10月に新ブランド「MAISON JEWELL」(メゾンジュエル)を出店し、郊外型SCという新しいマーケットの開拓に取り組みました。

### ■ 2013年度の計画

引き続き「4°C BRIDAL」「canal4°C」の出店を加速します。また、「4°C」ブランド価値向上のための広告・販促投資も継続して行います。「MAISON JEWELL」は客層や商品構成を検証し、下期2店舗の出店を計画中です。さらに、2013年秋には、地方都市を中心にプライダル専門店「deux et deux」(ドゥ エ ドゥ)をデビューさせ、マーケットの拡大を図ります。



「canal4°C」は、2012年度に5店舗を出店、2013年度は6店舗の出店を計画するなど、順調に出店拡大しています。(写真はcanal4°C横浜らぽーと店)

## アスティグループ

### ■ 2012年度の総括

ODMを中心としたアパレルメーカー事業において、企画提案力を強化し、売上高の拡大に取り組みました。主力得意先との取り組みや、新規取引先の開拓が順調に推移しました。

### ■ 2013年度の計画

アパレルメーカー事業のODMビジネスの拡大に向け、素材提案などの企画機能の拡充と、ベトナムやバングラディッシュ等での生産背景の整備に取り組みしていきます。また、大手アパレルやGMS、専門店等既存の主力得意先との取り組みを強化するとともに、専門店を中心とした新規取引先の開拓を進めます。



競争力のある商品の開発を目指し、デザインや素材、生産背景まで提案するODM機能の拡充を進めています。

## (株)三鈴

### ■ 2012年度の総括

ブランド価値の向上とSPA機能の強化に取り組みましたが、不採算店舗の退店のほか、セール時期の対応不足や天候不順の影響で苦戦しました。しかし、第4四半期にはセール時期への対策を強化した結果、回復基調で推移しました。

### ■ 2013年度の計画

アパレルSPAとしての強みを生かした商品供給と、先物計画の徹底による商品企画力の強化に力を入れていきます。また、ポスターやプロモーションビデオなどの店頭販促の強化と新規出店にも取り組みます。同時に、「東京ランウェイ」などのファッションショーへの参加や雑誌媒体と連動したプロモーション活動を引き続き実施し、認知度の強化を図ります。



エレガンスブランドの「Rew de Rew」(ルッデルッ)は、「東京ランウェイ」に参加したほか、新規出店も順調に進展しています。(写真はRew de Rew福山店)

## (株)アージュ

### ■ 2012年度の総括

主力の「パレット」は、関西地区への5店舗の新規出店を行い、関西ドミナントを加速させました。また、PB商品が順調に拡大したことで、利益の拡大につながりました。

### ■ 2013年度の計画

引き続き「パレット」の関西を中心とした出店を継続していきます。年間5店舗の出店により、2桁増収を目指します。また、店舗の標準化を進め、効率化にも取り組みます。さらに、実用衣料を中心にPB商品を強化し、利益の拡大を図ります。



総合衣料品店「パレット」の出店と、PB商品の拡充を進めています。(写真はパレットなかま店)

# Advance to the Future

# 連結財務諸表

## 2013年2月期連結業績

営業収益	<b>482億円</b> (前期比 +3.3%)
営業利益	<b>43億円</b> (前期比 +25.2%)
経常利益	<b>49億円</b> (前期比 +25.6%)
当期純利益	<b>28億円</b> (前期比 +41.4%)

## 連結貸借対照表(要旨)

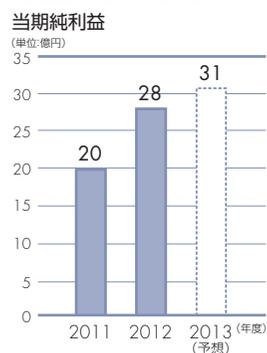
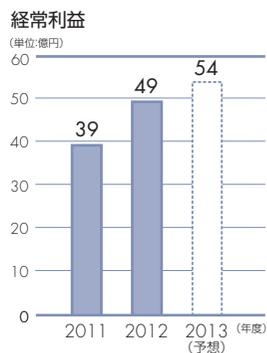
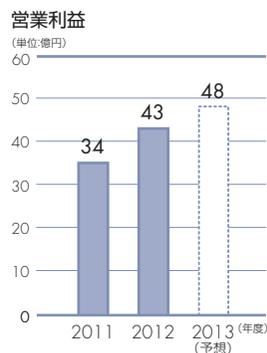
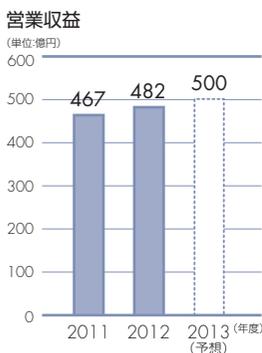
科目	2012年2月期(第62期) (2012年2月29日現在)	2013年2月期(第63期) (2013年2月28日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	11,974	12,995
固定資産	39,167	40,300
資産合計	51,142	53,295
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	8,530	8,172
固定負債	3,774	4,015
負債合計	12,304	12,188
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	39,030	41,007
その他の包括利益累計額	△208	78
新株予約権	14	19
少数株主持分	1	1
純資産合計	38,837	41,106
負債純資産合計	51,142	53,295

(単位:百万円)

## 連結損益計算書(要旨)

科目	2012年2月期(第62期) (2011年3月1日から2012年2月29日まで)	2013年2月期(第63期) (2012年3月1日から2013年2月28日まで)
営業収益	46,693	48,237
売上高	45,690	47,264
売上原価	21,071	21,274
売上総利益	24,618	25,990
その他の営業収入	1,002	972
営業総利益	25,621	26,962
販売費及び一般管理費	22,196	22,673
営業利益	3,425	4,289
営業外収益	516	636
営業外費用	51	41
経常利益	3,889	4,883
特別利益	124	97
特別損失	470	425
税金等調整前当期純利益	3,543	4,555
当期純利益	1,970	2,785

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	2012年2月期(第62期) (2011年3月1日から2012年2月29日まで)	2013年2月期(第63期) (2012年3月1日から2013年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,059	3,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432	△1,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,841	△1,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	9
現金及び現金同等物の増減額	784	824
現金及び現金同等物の期首残高	502	1,287
現金及び現金同等物の期末残高	1,287	2,111

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

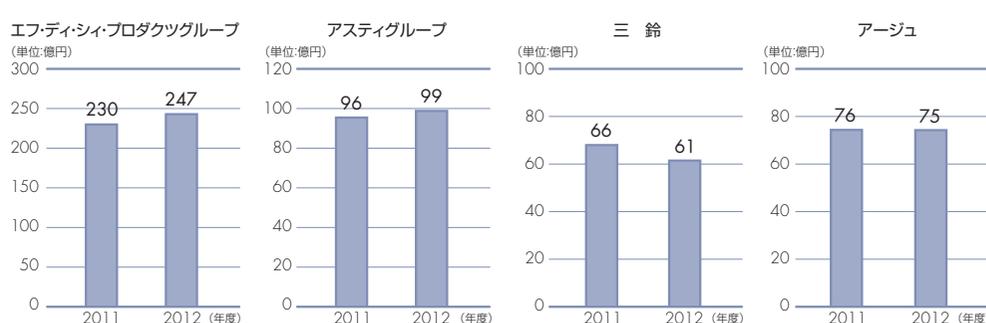
# セグメント情報

## 事業区分別業績

	営業収益 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2012年2月期	2013年2月期	前期比(%)	2012年2月期	2013年2月期	前期比(%)
エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	22,980	24,678	+7.4	3,095	3,756	+21.3
アスティグループ	9,585	9,940	+3.7	338	542	+60.2
三鈴	6,567	6,141	△6.5	140	75	△46.2
アージュ	7,559	7,477	△1.1	140	151	+7.5
合計	46,693	48,237	+3.3	3,425	4,289	+25.2

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する営業収益を表示しています。注3:セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 事業区分別営業収益



## トピックス

### 株式会社ヨンドシーホールディングスに社名変更

～コーポレートブランドと企業認知度の向上を目指す～

株式会社F&Aアクアホールディングスは、2013年9月1日より、株式会社ヨンドシーホールディングスに社名変更します。

当社は2006年9月に持株会社として設立後、業態が卸売業から小売業へと変化してまいりました。そこで小売業として消費者により認知されるために、当社グループの業績を牽引し、ブランド認知度の高い「4C」を社名に

冠することが、当社の財産を活用し、持続的な企業成長のために最適であると考えました。

この社名変更により、消費者のみならず、取引先や株主市場関係者の方々の間での認知度が一層高まる効果があると確信しています。

新社名「ヨンドシーホールディングス」のもと、企業認知度を高めるとともに、グループ・シナジーのさらなる強化を目指します。

### 会社概要 (2013年2月28日現在)

社名	株式会社F&Aアクアホールディングス (英文) F&A AQUA HOLDINGS, INC. (略称) F&AアクアHD
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業 アパレル・バッグを中心とした 企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	11社

### 役員 (2013年5月23日現在)

代表取締役会長	木村 祭氏
代表取締役社長	鈴木 秀典
常務取締役	宮本 聡
常務取締役	岩森 真彦
常務取締役	瀧口 昭弘
取締役	西村 政彦
取締役	久留米 俊文
取締役相談役(非常勤)	細田 信行
常勤監査役	田坂 英二
監査役	上村 信彦
監査役	藤森 友明



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.fa-aqua.co.jp/>

### IRお問い合わせ先

業務部 総務課

TEL:03-5719-3429

FAX:03-5719-4462

E-mail:ir@fa-aqua.co.jp

## 株主情報

### 株式情報 (2013年2月28日現在)

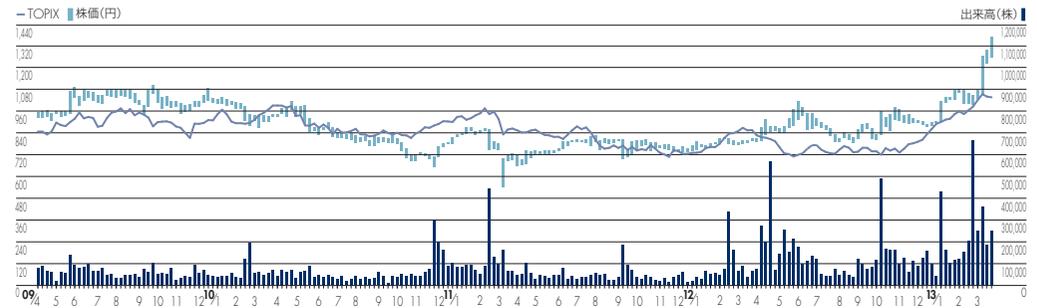
発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	10,719名

### 大株主 (2013年2月28日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社フジ	5,224	17.81
株式会社広島銀行	1,424	4.86
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
F&Aアクア共栄会	1,097	3.74
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
F&Aアクアホールディングス従業員持株会	490	1.67
株式会社もみじ銀行	477	1.63
東京海上日動火災保険株式会社	458	1.56
尾山 嗣雄	456	1.55

注:当社は自己株式771,296株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

### 株価推移



### 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11 (お問い合わせ先) 電話 (0120)232-711 (通話無料) (各種手続き用紙のご請求) 電話 (0120)244-479 (通話無料)

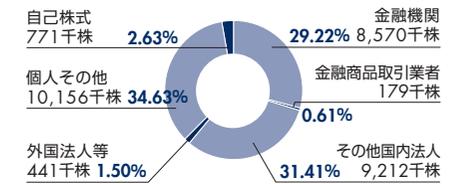
公告 (公告方法) 当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
(公告を掲載するホームページアドレス) <http://www.fa-aqua.co.jp/ir/koukoku.html/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
証券コード 8008

- (ご注意)
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
  - 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

### 株式分布状況 (2013年2月28日現在)

#### ■所有者別株式分布



### IRカレンダー

決算発表・説明会	毎年4月中旬
定時株主総会	毎年5月下旬
第1四半期決算発表	毎年7月上旬
第2四半期決算発表・説明会	毎年10月上旬
第3四半期決算発表	毎年1月上旬